

# 豊頃町の児童生徒の体力や運動習慣は？

町内の小学5年生、中学2年生を対象に実施した令和4年度全国体力等調査の分析結果が北海道教育委員会から公表されました。各学校においては、この分析結果を生かした体育科授業の工夫改善、体力づくり活動の計画的実施など、既に取組を進めているところです。これに関わり、本町の体育・スポーツ振興の観点から、家庭、学校、地域が連携協力し、心身ともに健康な子どもたちの育成に努めてまいります。

問合せ先

教育委員会学校教育係  
☎579・5801

- 調査実施期間 令和4年5月～7月
- 調査の対象学年及び実技内容
  - 小学校第5学年／握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走立ち幅とび・ソフトボール投げ
  - 中学校第2学年／握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・持久走・50m走立ち幅とび・ハンドボール投げ
- 運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

## ● 豊頃の子どもの体力等の傾向

### 【小学生】体力合計点は、男女とも全国、全道を上回りました。

《実技》／全8種目中、男子は、握力・長座体前屈・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げの6種目、女子は、長座体前屈・立ち幅跳び・ソフトボール投げの3種目が全国・全道平均を上回りました。

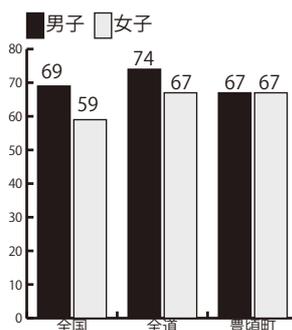
《質問紙》／「運動やスポーツをすることが好き」「あなたにとって運動やスポーツは大切なものですか」で「運動が大切」と回答した児童が全国・全道水準であり、運動に対する関心・意欲が高いです。

／中学校進学後、授業以外に自主的に運動したいと回答した児童が90%を超えています。

／生活習慣では、朝食を毎日食べたり、睡眠をしっかりとしている児童が全国平均よりも多くみられました。

男女共に「平日のテレビ、スマホ、ゲームなどの時間」の回答で、3時間以上の児童が男子で30%以上、女子で60%以上と高い数値になっています。特に女子では、5時間を超える児童も20%います。

運動が大切（小5）



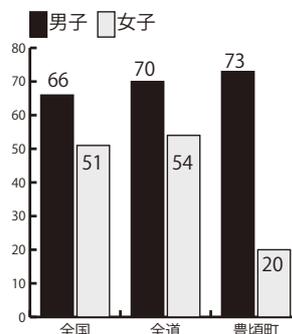
### 【中学生】体力合計点は、男女ともに全国平均を下回りました。

《実技》／全8種目中、男子は、握力・持久走・ハンドボール投げの3種目、女子は上体起こし・長座体前屈・ハンドボール投げの3種目が全国を上回りました。男子はハンドボール投げと持久走、女子は上体起こしが全国平均を大きく上回りました。

《質問紙》／「運動が好き」と答えた男子生徒の割合が全国を大きく上回っています。また、90.9%の男子が「運動は大切である（「やや大切」含）」と答えました。

○生活習慣では、「毎日朝食を食べている」男子生徒は63.6%に対して、女子は40.0%という結果がみられました。また、「食べない日もある」と答えた男子は36.4%、女子は40.0%という結果となりました。「平日のテレビ、スマホ、ゲームなどの時間」については、男子の45.5%、女子の50%が3時間を超えることがわかりました。

運動が大切（中2）



## ● 調査結果から考えられること

### 【全体の傾向と課題】

- 「運動の大切さ」を理解しているので、段階的に運動スキルを向上させるためにも、運動を楽しむ意識を継続的に育てることが大切です。
- 小・中学校共に、体を動かすことが好きな児童生徒も多く、部活動や少年団で運動に親しむ土壌を今後も大切にしていけることが必要です。
- 小学生は週の運動時間が長い児童は体力合計点が高く、日常的な運動に取り組むことが課題です。
- 一日の生活の中でゲームやテレビ視聴等の時間が小・中学生共に長く、時間を決めることが大切です。

### 【今後の取組の方向性】

- 学校では、今ある優れた能力を一層高めつつバランスの良い体の動きを目指し、総合的な体力等向上に資する授業研究や部活動等諸活動の充実に努めます。
- 家庭では、基本的な生活習慣の基盤をなす「食習慣」を今後も大切にするとともに、家庭生活におけるテレビ、スマホ、ゲーム等をする時間にルールを設けることが肝要です。家族全体で健康づくりに取り組むなど、日々の生活の中に運動を取り入れていきましょう。
- 地域では、PTA、子ども会、スポーツ少年団活動や町内会行事等において、子どもも大人も楽しめるゲームや軽運動を取り入れるなど工夫し、スポーツに親しむ環境づくりにご協力をお願いいたします。